



市議会だより

令和8年
第1回定例会
第296号

令和8年(2026年)
5月19日発行



第72回小金井桜まつりの様子(3月28日、29日都立小金井公園内)

新年度予算を可決

都市計画道路の調査費を削る動議成立を踏まえ

2本の決議を全会一致で可決

- ・アメリカ、イスラエル及びイランにおける平和の即時実現を求める決議
- ・障害者交通手当支給対象者への配慮を求める決議

第1回臨時会の概要

令和8年第1回臨時会(斎藤康夫議長)
は、2月5日に開会し、同日閉会しました。

今臨時会では、専決処分報告及び承認について(令和7年度一般会計補正予算(第8回)及び物価高騰対応生活応援給付金給付に要する経費等を計上した、令和7年度一般会計補正予算(第9回)を審議しました。

第1回定例会の概要

令和8年第1回定例会(斎藤康夫議長)は、2月16日に開会し、3月23日に閉会しました。

令和8年度一般会計予算を可決

令和8年度一般会計予算は、総額が前年度比約4・2%の増加となる、歳入歳出それぞれ546億円提案されました。

審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会(水谷たかこ委員長)に付託し、7日間に及ぶ審査を行いました。

3月23日の本会議では2件の組替え動議が提出され、そのうち1件を可決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。(詳細は2面に掲載)

なお、一般会計以外の国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別

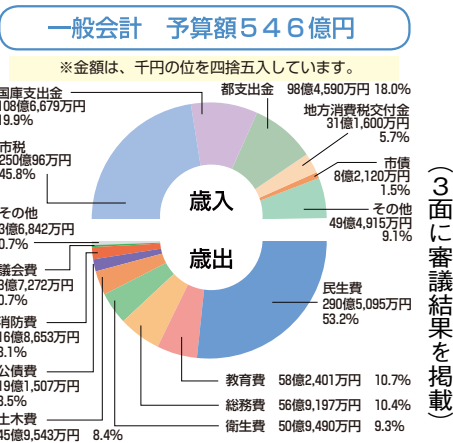
アメリカ、イスラエル及びイランにおける平和の即時実現を求める決議を可決

3月23日の本会議において、国及び関係各国の政府に対して、全ての国が国連憲章や国際法を遵守する義務を有すること及び全ての国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認し、アメリカ、イス

障害者交通手当支給対象者への配慮を求める決議を可決

3月23日の本会議において、障害者交通手当支給対象者へ、制度の変更が暮らしや社会参加へのハードルとならないよう丁寧に説明するとともに、実態を把握すること、また特に利用頻度が高く、生

活に支障が生じるおそれのある方に対し、柔軟な支援策を検討する等の配慮を求める内容の決議を提案し、採決の結果、原案のとおり可決しました。
(7面に審議結果を掲載)



令和8年第1回

臨時会日誌

〔2月〕

5日 本会議(議案の審議・採決)

令和8年第1回

定例会日誌

〔2月〕

16日 本会議(議案の審議・採決、陳情の採決、令和8年度施政方針の質疑)

17日

本会議(令和8年度施政方針の質疑、議案の審議、委員会付託)

18日

本会議(議案の審議、委員会付託)

24日

本会議(一般質問)

26日

本会議(一般質問)

27日

本会議(一般質問)

〔3月〕

2日 本会議(一般質問、議案の訂正、議案の審議、委員会付託、陳情の委員会付託)

3日

本会議(議案の審議、陳情の委員会付託)

4日

本会議(議案の審議、陳情の委員会付託)

5日

本会議(議案の審議、陳情の委員会付託)

6日

本会議(議案の審議、陳情の委員会付託)

7日

8日

9日

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日



審議した主な議案

令和 8 年度 一般会計予算

2月17日の本会議において予算特別委員会（水谷たかこ委員長）に付託し、3月9日、10日、11日、12日、13日、16日、18日の計7回にわたり審査を行いました。

3月18日の委員会では、起立採決の結果、起立少数により、否決すべきものと決定しました。

3月23日の本会議では議員から市長に対し、予算の内容の変更を求める2件の組替え動議が提出され、そのうち1件の組替え動議を可決しました。

主な提案内容は、厳しい財政状況において、委託事業の目的プロセス、成果の取扱いが不明確な事業に公金を投じることには市民の理解は得られないとして、都市計画事務に要する経費のうち都市計画道路に係る調査研究支援委託料（435万6千円）を減額し、予備費（5千334万7千円）に充てるものです。

市長からこの組替え動議の内容に即した補正予算を令和8年度第2回定例会に提出する旨の表明があった後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

組替え動議に対する

反対討論（要旨）

水谷たかこ（こがおも）

都道3・4・11号線に関する調査委託は、昨年9月の市長報告で「一定の環境への影響があったとしても、その影響を軽減して、できる限りこの貴重な自

る効果等を、市報等で広く周知することを求め、賛成する。

原案に対する反対討論（要旨）

渡辺大三（子ども／情報）

①庁舎・福祉会館建設事業。4年前の前市長在任時には123億円だった総事業費が242億円の倍増する状態を放置し、設計の見直しによる大幅コストダウンに背を向けている。②増税、値上げ、有料化など市民負担増を続出させながら、市役所職員の人件費を無秩序に増大させている。③白井版新たな廃園条例が強行採決され、現在、くりのみ保育園とさくら保育園の段階的縮小が続き、小金井、わかたけ、けやき保育園の募集人数も大幅減となっている。

原案に対する賛成討論（要旨）

河野麻美（自由民主党）

我が会派がこれまで要望していたワクチン助成や公衆喫煙所設置、上水公園グラウンド改修等の予算反映は評価する。一方、実効性を欠く稼ぐ自治体の揭示や不透明な指定管理委託、公費投入の妥当性等、依然として多くの課題が残る。特に組替え動議を招いた道路調査研究支援委託費については、事業構築の甘さとガバナンスの課題から看過できない。将来を見据えた持続可能な財政運営と市民生活を最優先とした責任ある市政運営に当たろう強く要望する。

原案に対する反対討論（要旨）

村上ようすけ（れいわ新選組）

不登校支援において、一貫して要望してきたフリースクール等学校以外の多様な学びの場のための予算が不十分である。校内教育支援センターの全校配置や新たな東中学校の「チャレンジクラス」設置は評価するが、「もくせい教室」等既存取組を

含めても、支援対象者は不登校児童生徒の一部に限られ、75%がほぼ自宅のみで過ごしている。当事者から要望の多いフリースクール等学校以外の多様な学びの場や訪問型支援等の拡充が必要。よって本議案に反対する。

原案に対する賛成討論（要旨）

小林正樹（公明党）

組替え動議可決後の市長発言を踏まえ、原案に対し賛成する。我々が市民の方のご意見を代弁してきた内容も多く含まれている部分は評価をする。制度変更に伴う障害者交通手当は、大きく利便性が向上する一方、制度の変更が支援を必要とする方々の、暮らしや社会参加へのハードルとなることは避けなければならぬ。市民交流センターに

原案に対する反対討論（要旨）

藤川賢治（見える化）

新たに予防接種費に妊婦向けRSウイルスワクチンが計上されているが、早産リスクを周知しないままの予算化に反対する。妊婦は免疫のバランスが重要な時期であり、定期接種は前例が無い。早産増で治験中止になったワクチンもある。認可されたものも接種すると有意差なしだが、全体での早産は2割増、28週～32週では早産が4割増で有意差がある。他国では早産が多い週では推奨されずリスクも文書で明示してある。論文は、全体での入院減少も示せなかった。

原案に対する賛成討論（要旨）

清水学（自民街仲）

自民党・街の仲間たちとして提案した組替え動議が可決し、市長から動議に即した補正予算

を次回定例会に提出する発言があったことから、本議案に賛成する。いよいよ令和10年度整備の状況が見えてきた駅前公園を含む東小金井駅北口土地区画整理事業、市営自転車駐車場の待望のキャッシュレス化、武蔵小金井駅北口再開発事業、AEDを24時間利用できる環境整備、上水公園グラウンド改修工事、小中学校での応援医対応等の予算については前向きに捉える。

原案に対する反対討論（要旨）

坂井えつ子（緑・つながる）

井戸水等水質検査委託料、気候市民会議関係経費等の予算化は評価しているが、今回は反対すべきと判断した。第一副市長には、理事者、事務方のトップ、コンプライアンス推進委員会委員長としての職責を果たすよう強く求める。都市計画道路に係る調査研究支援委託料は、組替え動議の可決により市長が削ることを約束したが、この経費を削るということは、都の言うままに進めることを容認することになる。地方自治、地方主権の観点からも行うべきだった。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

本条例は、子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険事業の円滑な財政運営を確保するために、令和8年4月1日からの国民健康保険税額を改定するものです。

原案に対する賛成討論（要旨）

厚生文教委員会（沖浦あつし委員長）

2月18日の本会議において、厚生文教委員会（沖浦あつし委員長）に付託し、3月4日の委員会では、3月4日の委員会で審査を行いました。同日の委員会では本条例を継続審査とすることを諮りましたが、これを否決した後、原案について起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

原案に対する賛成討論（要旨）

森戸よう子（日本共産党）

社会教育法第20条では、公民館は、「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」としているが、本議案はこ

反対討論（要旨）

たゆ久貴（日本共産党）

軽減判定の対象が広がることについては良かったが、その他の所得割の税率の引き上げ、均等割額の引き上げ、賦課限度額の引き上げ、子ども子育て支援分の新設などにより、全体として約2億円の市民負担増である。一人当たりに換算すると、1万511円の負担増の内容になっている。一方で、市は一般会計からの法定外繰入金金を1億円減額している。市が一般会計からの法定外繰り入れを減らすことにより、加入者の保険税負担が増え、おり問題である。

公民館条例の一部を改正する条例

本条例は、令和8年4月1日から公民館において使用料を徴収することに伴い、公民館の利用者区分ごとの使用料や使用料（減額または免除に関する規定を新設するものです。

2月18日の本会議において、厚生文教委員会（沖浦あつし委員長）に付託し、3月4日の委員会では、3月4日の委員会で審査を行いました。同日の委員会では本条例を継続審査とすることを諮りましたが、これを否決した後、原案について起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

原案に対する賛成討論（要旨）

安田けいこ（生活者ネット）

公民館の受益者は地域や行政であり、本来は無料であるべき。有料化には反対の立場である。しかし、市民や利用者団体と真摯に協議し提案された経緯をふまえ、本議案に賛成とする。条例に「減免」だけでなく「無料」の枠組を入れたことを評価する。社会教育団体の基準作りと、有料化導入後の検証は、市民の意見を取り入れる事を求める。

反対討論（要旨）

片山かおる（子ども／情報）

社会教育は個人だけではなく、社会全体に影響を及ぼすという観点から受益者は「社会全体」と言える。条例の審議や答弁は、誰でも使える公民館を目指し無料の原則を掲げる三多摩テーゼの精神に反している。有料化に関する市民説明会のお知らせは利用者に行き渡っておらず、議事録が非公開のため、参加者の意見を把握できない。小金井の公民館のあり方を大きく変える条例で、これまで市民と職員と共同で育んできた社会教育のあり方にも大きく影響する。





議員は議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。

議会Q&A

Q 一般質問はいつ行われるの？

A 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。

Q 質問時間はどのくらい？

A 1人1回おおむね1時間以内です。

Q 傍聴はできるの？

A だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

一般質問

(4面～6面) 2月24日、26日、27日、3月2日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

＜2次元コードについて＞

スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ(上：前半、下：後半)掲載しています。

会派の略称

(み ら い)	みらいのこがねい	(参 政 党)	参政党小金井
(自 由 民 主 党)	自由民主党小金井	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日 本 共 産 党)	日本共産党小金井市議団	(自 民 街 仲)	自民党・街の仲間たち
(公 明 党)	小金井市議会公明党	(れいわ新選組)	れいわ新選組小金井
(子 ども / 情 報)	子どもの権利／情報公開	(見 え る 化)	小金井市政を見る化する会
(こ が お も)	小金井をおもしろくする会	(緑・つながる)	緑・つながる小金井

「トイレ搭載トラック」 ついに導入か！

吹春やすたか
(自由民主党)

市長が示した施政方針を拝見し私はビックリした。これまで私が繰り返し提言し続けていたことが複数盛り込まれており、そのことは感謝申し上げる。また、市長は「トイレ防災」という言葉を使っている。これは災害時に断水や下水管の破損で水洗トイレが使えなくなってしまう場合を指し、排せつ環境を維持する備えを「トイレ防災」と東京都では表現している。大災害発災後に避難所等で既往症の影響で命を亡くす災害関連死を防ぐためにはトイレ施策が一番大事だと医療関係の方々から意見を頂いている。平成30年第一回定例会で「災害用トイレトレーラー」の導入を提案した。それから何度も何度も要望としても質問としても取り上げてきた。その「トイレトレーラー」が「大規模発災時に重要となるトイレ防災については、クラウドファンディングを活用したトイレカーの導入に向け検討する」と示された。導入に関して具体的なスケジュール等はあるのか。



地域で作ろう、持続可能な な支え合いの街づくり

吉良のりこ
(みらい)

介護認定に至る前の段階で、買い物や通院の付き添いなど「生活の中のこと」として困りごとを抱える高齢者は少なくない。また、要支援の方が可能な限り自立した生活を維持・継続できるようにすることは、本人の生活の質の向上だけでなく、将来的な社会保障費の抑制の観点からも重要である。介護人材不足を踏まえてボランティアの善意に過度に依存しない「持続可能な生活支援の仕組み」を構築している大阪府大東市の事例もある。(ア)地域包括支援センターの業務内容を見直し、地域住民による支



青切符導入に伴う 市民のご不安について

小林正樹
(公明党)

4月1日から施行される道路交通法改正で、反則金を伴う制度が導入される。自転車事故の防止、安全確保のためにも、制度内容を理解し安全運転に取組んでいただく必要がある。(ア)反則行為とは。(イ)どのような場合に取締り(青切符)の対象となるのか。(ウ)歩道を走行したら即、取締りの対象となるのか。(エ)車道を走行する為に道路の整備や、(仮称)自転車総合計画の作成を早急に進めないか。



今後の学校の建設計画 財務情報の複式簿記化

天野かな
(みらい)

建設業界を取り巻く環境は、人手不足や働き方改革の影響により工期延伸・工費高騰が進み、受注残や受注不可による開発中止が増えるなど、日々深刻化しており、建物を建てたくても建てられない状況が顕在化しつつある。そうした状況を踏まえ、市は建て替えや改修時期を待つだけではなく、修繕対象のトイレの拡大や先行した修繕実施など、代替案も検討すべき。現設計計画の前提条件と現状認識、建て替え遅延に備えた代替案の検討状況は。



障害のある人もない人も 共に働く社会に向けて！

村上ようすけ
(れいわ新選組)

障害者就労支援は「雇用施策」と「福祉施策」の2つの体系とも時勢に応じた制度改正を経て拡大し「福祉から雇用」への流れも進んできたが、「全ての障害者が、その特性や個性、ニーズに応じて能力を有効に発揮できる」状況には達していない。小金井市では5か年の「第2次障害者活躍推進計画」を作成して取り組む。(ア)「障害者就労」全体の現状、課題について問う。(イ)市役所の雇用率・定着率・満足度について問う。(ウ)市役所の就労状況公表について問う。(エ)市役所の就労モデル化・事例公表につ



デジタルレイバーと障がい者の移動バリア可視化

ながとり太郎
(こがおも)

2040年の深刻な労働力不足を見据え、DXを単なるツールではなく、労働力を補うデジタルレイバーとして定員管理とともに考え、DX、行政経営、人事担当の一体的な体制を構築すべきである。



会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。

<https://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/>



家賃上昇下の居住支援 アカデコミカルの街



太田宏徳
(公明党)

カルチャーが共存する「アカデコミカルの街」というコンセプトを具体化する中で、市民まじりに参画いただきたい団体も見えてくる。市民協働支援センターに参画を希望する団体を待つだけでなく、本市として明確なブランディング戦略を掲げ、その実現に必要な団体に対して積極的に参画を働きかけていくべきと考えるが、市の見解は。

部長 市内には地域での活動を志している大学研究室や文化に関する活動をしている団体があり、幅広い分野の一つとして、参加を待つだけではない協働の方法についても今後、研究したい。

誰にもやさしい避難所に 公園で花火を可能に



水谷たかこ
(こがも)

(イ)教員の要望が多いICT環境の改善を急げ。

部長 (ア)校則の改正手順を定め、標準服のデザインや着用ルールを決める等、意見を反映した。授業評価アンケートを次学期の授業づくりを活用している。(イ)東京都教育庁が令和10年度以降に計画している統合型校務支援システムに参画する考えであるが、可能な限り早期導入に向け進める。

③他市区のように本市の公園でも花火を可能にしたが、課題は何か。

部長 騒音や煙等の近隣への配慮、ごみの持ち帰り徹底等が課題。夏休み、はけうえ広場他で3日程程度の開催に向け協議している。

RSウイルスワクチンの 早産増加リスク周知求む



藤川賢治
(見える化)

米国やWHOの指針に基づく見直しは考えていない。

②小金井市の防災拠点にあるWi-Fiは災害時に認証なしで利用できる0000JAPAN(ファイゼロジャパン)対応か。

部長 電気通信事業者の取り組み000000JAPANに対応。市のホームページで情報提供を始めた。

疾患・有害事象	ワクチン群 (約3500人)	プラセボ群 (約3500人)	差
早産	202	169	+33
出生後360日までに入院(RSウイルス原因)	38	57	-19
出生後360日までに医療機関を受診(全原因の下気道疾患)	504	531	-28

出典：
<https://www.fda.gov/media/172126/download>
<https://www.nejm.org/doi/suppl/10.1056/NEJMoa2216480/>

ファッションゴミ対策 生活応援事業について



中井れい子
(公明党)

(イ)衣類について、適正なリユース・リサイクルのための分別・回収を始め、資源循環システムの構築を通じてサステナブルファッションの実現を。(ア)本市の衣料品回収の課題は。(イ)環境省が進める衣類、ファッションの資源循環の認識は。

部長 (ア)週一回回収の布類は原則リユースとなり、雨天の場合、濡れるとリユースできないため、回収判断に苦慮する。(イ)環境省のサイトに掲載されている情報を確認するまでにとどまっている。今後、国でのガイドライン策定や先進自治体の施策の動向等を注視していく。

②東京アプリの中で実施されている生活応援事業は、物価高騰等の影響を受ける都民の暮らしを支える重要な政策の一つである。特にデジタルを活用した事業であるからこそ、情報が届きにくい層への丁寧な周知が不可欠。(ア)スマートフォンを持たない高齢者に対し購入費補助を行わないか。(イ)積極的に課題を解決する環境づくりに取り組まないか。

部長 (ア)補助の是非を慎重に検討する。(イ)全ての市民がデジタル技術の恩恵を享受できるための取組を進めるものとして、デジタルデバイドの解消に向けた取組を盛り込む予定。

日中に活動できる 消防団員確保策の検討を



鈴木成夫
(みらい)

取組は、避難所運営の円滑化に有効。施策の体系的実施のためには、相応の準備や継続的関与が必要ことから、先行事例の調査も含め、実効性や体制面の課題を整理し、研究する。

③山積する地域防災の課題解決に、地域安全課の職員体制拡充を検討せよ。

市長 課題として十分取り組めていない部分もあるが、施政方針でも防災・減災対策の強化を明記した。体制拡充をとのご意見は重く受け止める。

②大災害発生時に避難所となる小中学校単位で自主防災組織をブロック化し、共通化した避難所開設プログラムを作らないか。

部長 議員提案の一連の

どう防ぐ オーバードーズ!!



遠藤百合子
(自由民主党)

対策は。(ウ)保健所や医療機関との連携は。(エ)薬剤師会や学校薬剤師による相談窓口の対応は。

部長 (ア)若い世代を中心に増加しており、自殺予防の観点も含め非常に重要な課題と認識。(イ)保健だよりによる保護者への呼びかけ・警察署員や民間団体の方による薬物乱用防止教室の実施等、啓発活動を実施。(ウ)保健所や警察署から講師を招いての現状把握や医療関係者との連携で啓発活動に取り組んでいる。(エ)薬局等でマニュアルによる対応・薬剤師会独自の研修・学校薬剤師による講演等。

③その他、食育について質問しました。

デジタル化による市民の 利便性・満足度向上を



沖浦あつし
(みらい)

者等の交通割引を推進し、他市で実装事例がある。本市も、交通系ICカードで高齢者等の交通割引を受けられるようにしてはどうか。

部長 (ア)技術的には可能だが、今後個人への給付の可能性は。(イ)公式LINEを活用し、個人への最短即日給付を実現した先進事例を参考に、本市でも、個人への迅速な現金給付の実現性は。(ウ)COCOパスの高齢者割引につき、介護保険被保険者証提示の不便解消へ、本市は高齢者割引専用パス発行を検討している。

一方、都ではシルバーパスのICカード化、国もマイナンバーカードと交通系ICカードの連携による高齢

続・AEDの24時間利用 可能な環境整備を!



清水圭一
(自民街仲)

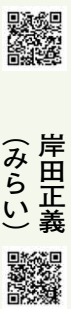
うに考えるか。もうこれ以上、AEDがあれば助かったという事象が発生しないために検討を求める。

部長 24時間利用可能なAEDの必要性は高く、生涯学習課の事例は、屋外設置における一つのモデルケースと認識する。より実効性の高い体制の構築に向け、引き続き検討していく。

感じ、改めて質問をする。

浴恩館公園内の小金井市文化財センター入口に自立式で外置き型のAEDが設置された。受付内に設置した場合と屋外に設置した場合の費用差は年間約3万3千円ということであった。この3万3千円の差をどのよ

学童保育の全入制は？ 放課後の総合的対策を問う



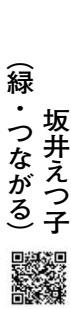
岸田正義
(みらい)

上げる本気の取組が必要。
部長 (ア)育成室確保に向



令和11年に学童保育の平均利用者は千500名を超え、20施設が新たに必要となる。(ア)弾力的運用による暫定学童ではなく抜本的対策と保育の質の未来像を示すべき。(イ)普通教室のタイムシェアは。(ウ)放課後子ども教室の開催時間延長など更なる拡充は可能か。(エ)有料のアフタースクールに特別教室を提供できないか。(オ)市内大

3・4・12号線が市施行の 優先整備路線案に選定



坂井えつ子
(緑・つながる)

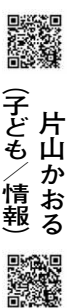
東京における都市計画道路の整備方針案で3・4・12号線(北大通り～五日市街道)が市施行の優先整備路線に選ばれた。(ア)正式に選定されると必ず着手されるのか。(イ)選んだ理由は。(ウ)道幅16mにする広げ方は。(エ)正式に選定されれば、市独自に説明会を開催したいという答弁があった。周知は、地域住民に特化したものや広く市民に向けた市報など丁寧な周知を。

部長 (ア)15年以内に優先的に整備すべき路線として選んだ。これまでの計画では着手できていない路線もある。(イ)市道第12号線は市



3・4・12号線＝緑中央通り
南側は新設、北側は拡幅の計画

原発の電気に依存しない、 涼しい木陰のある街へ



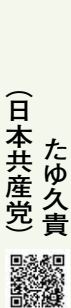
片山かおる
子ども／情報

目標値や取組をレベルアップし、第5期計画への改定を予定。



①福島原発事故から15年、事故の教訓は自治体政策に反映されているか。事故が収束しない中、東京電力の原発が再稼働される。都民が使う電気のために地方を犠牲にしているのか。脱原発の必要性を発信すべき。(ア)原発事故の現在の状況は。(イ)原発依存度と利益率の関係は。(ウ)省エネ、再生可能エネルギー利用状況は。部長 (ア)廃炉作業が継続し長期課題である。被災者避難者の生活再建の道のりはなお途上である。(イ)コスト上昇により他の電力と比べて差はない。(ウ)27施設で再生可能エネルギー導入。

学童保育所の 大規模化への対策を

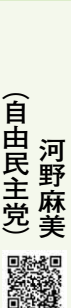


たけふ久貴
(日本共産党)

この間、各学童を利用している子育て世帯の皆さんから様々な意見を伺うことができた。依然として大規模化が進行していて十分な保育スペースの確保や指導員の採用難への対策など、安心安全の確保及び保育の質の維持・向上を図る必要があること、予算措置を含む計画的・抜本的な対策が必要なことなど現状の課題や要望を伺うことができた。小金井市は対策を進めるべきである。(ア)指導員の確保について、より充実させるために、市として更なる処遇改善を行うべき。(イ)公共施設総合管理計画及び公共

施設あり方・再編方針(案)において、総量抑制もしくは総量最適化が示されているが、少なくとも学童保育所については、集約化や複合化によって結果的に施設の面積が減ってしまうなんてことは絶対にならず、むしろ早急に拡大のための増設などを検討し行っていくべき。

市内公園で花火を／ごみ 啓発／名勝小金井サクラ



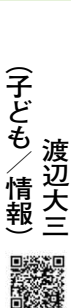
河野麻美
(自由民主党)

体への意識浸透に繋がると考えるが見解は。(イ)粗大ごみオンライン申込が開始し



①(ア)市内公園は火気禁止で花火ができる場所がない。時間が場所、対象等を限定し安全な利用ルールを策定の上、試行実施しないか。(イ)市役所駐車場等公共施設の活用や地域団体との連携による見守り体制の構築等更なる実施日数や場所の拡大に向け検討しないか。部長 (ア)今夏3公園で3日試行実施。(イ)検討する。②(ア)環境意識を見える形にするためカレンダー表紙に絵の描いた絵を子どもに引き継ぎの文化財として継承できる参加型制度の構築と工程の提示を求める。部長 100周年のレガシーをを活かし次世代が当事者意識を持てる仕組みを検討。

行き詰った庁舎等建設 市民意向の確認を

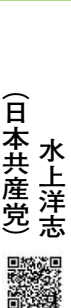


渡辺大三
子ども／情報

①庁舎等建設問題。昨年2月に入札が流れ、2度目の入札も7月に流れた。市長の施政方針は「早期建設」だが、朝日新聞は「新年度の入札を事実上断念」との記事を掲載。私が「誤報か」と市長に確認したところ「誤報だとは捉えていない」との答弁。議会が議決している130億円を超えた内容も検討することについても議会には特に相談はなかった。議会が議決している予算上限額を取り払って検討するというのは、どういう形でオーソライズされたのか。大きく金額のずれが生じたとなると、費用負担者であ

る市民の意向も住民投票や全市民意向調査、1万人意向調査等で確認していく必要があるのではないかと。市長 改めて市民の意向を確認する考えはない。②北大通りと小金井街道の交差点(本町二丁目交差点)は、東の方から来るところには、右折レーンも右折待機場所もない。右折車が多いと長い渋滞を招く。右折レーンは難しいが、横断歩道を下げれば、1台でも2台でも右折待機場所はできるのではないかと。部長 右折待機場所がないため渋滞の一因になっている可能性も考えられる。要望について小金井警察署に伝える。

新たな図書館建設の 検討を



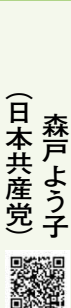
水上洋志
(日本共産党)

が配置していない。(イ)臨時の介護報酬改定で対象となる。(ウ)再研修費用を予算化した。(エ)環境整備に努める。(オ)給付と負担について市長会が意見をあげている。注視していく。



①介護保険制度の充実について質問する。ケアマネジャーの人手不足が問題となっている。(ア)主任ケアマネが配置されていない事業所の現状はどうか。(イ)ケアマネが処遇改善の対象となっていないが、新年度の対応はどうか。(ウ)潜在ケアマネの復帰対策はどうか。(エ)ケアマネのシャドーワークの改善の対策はどうか。(オ)政府は、利用料2割負担の拡大、ケアプラン有料化、総合事業への更なる移行を検討している。サビズを後退させないために、国に意見をあげてほしい。部長 (ア)12の居宅事業所

低所得者への 経済的支援を行わないか



森戸よう子
(日本共産党)

①物価高騰対策として(ア)低所得者へのエアコン設置補助を行わないか。(イ)ひとり親家庭への家賃補助を行わないか。部長 (ア)予算措置を含め適切な時期に提案したい。(イ)貴重なご意見として受け止め、今後研究に努めていきたい。

②税金滞納者の差し押さえについて、(ア)払う意思があるのに、市が「差し押さえする」と伝える対応は人権問題であり、改めるべきではないか。(イ)滞納者の生活を支えるくらし支えあい条例や債権管理条例を制定しないか。部長 (ア)COCOバス・ミニよりも乗車定員が少なく課題がある。(イ)利用者目線で改善できることの対応はして参りたい。



意見書・決議の審議結果		○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）																議 決 結 果
		み				自		共	公		子	お	参	ネ	街	れ	見	
		天	沖	吉	岸	鈴	河	吹	遠	た	水	森	太	中	小	渡	片	
		野	浦	良	田	木	野	春	藤	ゆ	上	戸	田	井	林	辺	山	
※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。		かな	あつし	のりこ	正義	成夫	麻美	すたか	百合子	久貴	洋志	よう子	宏徳	れい子	正樹	大三	かおる	
件 名	要 旨（提案議員が作成）																	
衆議院解散権の行使に関する法的明確化と民主的正当性の確保を求める意見書	第51回衆議院議員選挙は、解散から投票まで16日間という戦後最短の選挙で、極めて切迫した日程となった。解散権の行使には、その法的整理及び説明責任の在り方について、より一層の明確化を図るよう求める。	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公立病院への財政支援を抜本的に強化することを求める意見書	全国の多くの病院で経常利益が赤字である。東京都に対し、公立病院の経営を支える財政支援を抜本的に拡充すること、国に対して国費投入による診療報酬の抜本的な引上げ及び公立病院への支援の充実を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
統一協会との関係の疑惑を全容解明することを求める意見書	高市首相は統一協会との接点を否定しているが、説明責任を果たすべきである。統一協会が日本政治に介入することは問題であり、虚偽の発言で関係を隠べいしていたとすれば重大である。疑惑の全容解明を求める。	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方交付税の拡充を求める意見書	政府に対し、「偏在是正」を名目に東京都の税源を取り上げるのではなく、これまでの地方財政の抑制路線を転換し、自治体の財政需要に見合った一般財源総額の確保、地方交付税率の引上げなど地方財政の充実を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アメリカ、イスラエル及びイランにおける平和の即時実現を求める決議	中東情勢は全面的な軍事衝突へと急速に移行している。双方に多数の死傷者が出ており、罪のない子どもを含む多くの市民も犠牲になっている現状は看過できない。外交による平和的な解決に全力傾注するよう強く求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
障害者交通手当支給対象者への配慮を求める決議	制度の変更が、暮らしや社会参加へのハードルとなってはならない。丁寧に説明するとともに、実態を把握すること。また特に利用頻度が高く、生活に支障が生じるおそれのある方に対し、柔軟な支援策の検討を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民交流センター指定管理委託料その2に関する決議	指定管理者が舞台会社と契約できなくなり、自らの事業提案を履行できない事態に陥ったことは選定の適正性に対する疑念を生じかねない。事実関係を明らかにした上で再度協議を行い、最善の措置をとることを求める。	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
建設工事費が約40億円も膨れ上がった新庁舎等建設について市民への説明を求める決議	小金井市は新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設について、現設計を変更せず工事費174億円、総事業費242億円に大幅に増額する方針を市議会に示した。現設計のまま進めて良いかどうか市民の声を聞くことを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×

請願・陳情の審議結果		○：賛成　×：反対　△：退席　－：欠席(病気療養)　議：議長（原則、採決には加わらず）																議 決 結 果
		み				自		共	公		子	お	参	ネ	街	れ	見	
		天	沖	吉	岸	鈴	河	吹	遠	た	水	森	太	中	小	渡	片	
		野	浦	良	田	木	野	春	藤	ゆ	上	戸	田	井	林	辺	山	
付託先略称　総：総務企画委員会　厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会　議：議会運営委員会		かな	あつし	のりこ	正義	成夫	麻美	すたか	百合子	久貴	洋志	よう子	宏徳	れい子	正樹	大三	かおる	
件 名	要 旨																	
教育長は男女差別事案を真摯に受け止め、適切な事後処理を行うことを求める陳情書	男女平等に関する苦情申し立てにおいて不適切であるとされた事案の原因資料が存在とされている。当該資料を体育協会に請求し、内容の吟味を行い反省の弁を自発的に声明として発することを部局及び教育長に求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×
市民体育祭ゴルフ競技の改善を求める陳情書	市民体育祭ゴルフ競技に関し、市内在住・在勤・在学以外の人への特別待遇の排除、応募者負担が少ない募集方法の導入、受付担当者への個人情報保護誓約書提出の実施を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×
市民体育祭ゴルフ競技参加者に関する陳情書	市民体育祭ゴルフ競技の参加資格を少なくとも中学生以上に設定し、競技場規約が障害となる場合には、対応可能な競技場への変更を含めた対応を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×
市議会への請願書及び陳情書に関して、オンライン提出を可能にすることを求める陳情書	請願書及び陳情書の提出について、平日昼間や荒天時に提出する負担を軽減するため、オンライン提出ができるよう、立川市議会の事例を参考に関連規定を整備し、早期に実現することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
3・4・11号線など都市計画道路問題に関して参考人制度や公聴会制度の活用を求める陳情書	3・4・11号線などの都市計画道路問題の調査を進めるに当たって、議会基本条例に基づき、専門家の知見を得るための参考人招致及び市民の意見を聴取するための公聴会開催を求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
差別的な事業の是正を求められるに至った原因書類について、市は職権を用いて市民の知る権利に応えることを求める陳情書	市長及び教育長は、総合調整者としての責任を深く受けとめ、市民体育祭ゴルフ競技での差別的事業の原因資料である貸切営業確認書を開示するための職権を行使し、市民の知る権利に応えることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
小金井カントリー様に対して男女平等の参加資格をもって市民体育祭へのご協力を頂けるよう市長、教育長は努力すべしとする陳情書	市民体育祭ゴルフ競技の男女不平等な参加資格改善のため、小金井カントリーに対し、市長と教育長が規約変更を依頼し、説得することを求める。変更が叶わない場合は小金井カントリーの協力を辞退するよう求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
個人情報保護に適切なリスク対応を施さなかった部局の責任を問うと伴に二度とそのようなことが無いよう求める陳情書	市民体育祭参加者の個人情報保護に関する誓約書の管理が不十分だった職員及び教育長の責任を議論するとともに、本年度以降は漏れのない誓約書管理を徹底し、個人情報保護への十分な留意を求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
現在進行中の個人情報漏洩危機に対して緊急に手当をすることを求める陳情書	市民体育祭参加者名簿が体育協会からの返却も廃棄も確認できない現状は個人情報法的グレーゾーンにあると言える。体育協会に名簿管理の現状を確認し、返却または廃棄を緊急に命じることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
公的施設の各所に血圧計・体組成計などを常備し、市民の健康配慮ムーブに対して具体的に資す事業を求める陳情書	現行の健康チャレンジとは別に、公的施設に血圧計や体組成計を常備し、市民が気軽に健康チェックできる環境を整備し、市民の健康配慮ムーブに対して具体的に資することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
社会教育委員市民公募において前任者の再申込を受け、採用したのは市民参加条例の理念に反するとしてその撤回を求める陳情書	小金井市市民参加条例の広く市民の意見を反映させるという理念を尊重し、社会教育委員選考における前任者の再任を撤回し、選考のやり直しを求める。	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	×	△	×	×	×
市役所の部長職、課長職の管理職手当の大幅引き上げに反対する陳情書	市役所の部長職と課長職の管理職手当の大幅引き上げは行わず、そのことによって生み出した財源を、喫緊の課題である重要施策の財源、物価高騰対策などの市民サービス充実に活用することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
市役所職員ＯＢ（再任用職員）のボーナスの大幅引き上げに反対する陳情書	市役所職員ＯＢ（再任用職員）のボーナスの大幅引き上げは行わず、そのことによって生み出した財源を、喫緊の課題である重要施策の財源、物価高騰対策などの市民サービス充実に活用することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

【会派略称】　み：みらいのこがね　自：自由民主党小金井　共：日本共産党小金井市議団　公：小金井市議会公明党　子：子どもの権利／情報公開　お：小金井をおもしろくする会
参：参政党小金井　ネ：生活者ネットワーク　街：自民党・街の仲間たち　れ：れいわ新選組小金井　見：小金井市政を見る化する会　緑：緑・つながる小金井

市議会への請願書及び陳情書に関して、オンライン提出を可能にすることを求める陳情書

反対討論（要旨）

ながとり太郎（こがね）

オンライン提出を可能にすること自体は賛成する。議会に対して意見を届ける手段を広げることは必要であるが、現段階では本人確認や運用ルール、リスク対応等の重要論点で全会派の合意がない。まずは小さな一歩からという提案を行ったものの、議会改革は全会一致が原則であり、各会派の見解が分かれている現状では、オンライン提出を通常の提出と同様に審査するという本陳情の願意を汲むことは困難であると判断し、現時点では本陳情の採択に反対する。

議員の寄附行為禁止についてのお願

議員は、公職選挙法により、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状や暑中見舞いなどの挨拶状（答礼のための自筆によるものを除く。）を出したりすることが禁止されています。また、有権者が議員に対し、寄附を求めることも禁止されています。

なお、市民の皆様方との良好な関係を保つていくため、実費負担が必要とされる行事・催しをご案内いただく際には、会費を明示してご通知くださいますようお願い申し上げます。

何とぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



Green Purchasing Network
グリーン購入ネットワーク

小金井市はGPN会員として
印刷のグリーン購入に取り組んでいます。

この議会報は古紙配合率70%以上の紙を使用しています。 ※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
この印刷物は、植物性インキ（石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ）を使用しています。

令和 8 年度 施政方針に対する各会派の見解

みらいのこがねい

【庁舎及び（仮称）新福祉会館建設について】
「市場動向を注視しながら現設計での3回目の入札に向けて調整を進め、早期建設を目指す。」とした方針について、全庁一丸であるか市長に確認した。その上で、本事業の必要性、竣工後の市民利用のイメージやまちづくりの進展を、市報で特集する等、この機に、広く市民に知らせるべきと考える。
【財源確保～稼ぐ自治体について～】
財源確保策としてクラウドファンディング等を掲

げているが、稼ぐ仕組みを構築するためには、産業振興、都市基盤整備、庁舎跡地の活用等、まちをブランディングして歳入を増やす中長期的なまちづくりのビジョンを示すべきである。
【事務事業評価～最小の経費で最大の効果～】
新たな財源確保に努めるとともに事務事業評価等の仕組みの最大限活用と掲げているが、現行の事務事業評価では、課題をどの位の時間軸でどの程度改善するか目標設定が読み取れない事業がある。事

業の優先順位や見直しには、事務事業評価の仕組みや評価内容に更なる検討の余地があると考え。
【職員の働きやすい環境づくりについて】
働きやすさの推進のために、AIの積極的な導入による作業の効率化や、属人化した業務の標準化を行い、時代のニーズに合わせた事業見直しの上、業務のスクラップ&ビルドを進めるべきと考える。

自由民主党小金井

白井市政4年間の集大成となる施政方針だが、新庁舎等建設の現状には強い懸念が残る。「市場動向を注視し、現設計で3回目の入札にかける」とするが、それを理由にするならば、昨年の段階で方針を示し、概算費用の検討もできたと考える。昨年の入札不調から半年以上、方針を決めかねているかのような市の姿勢により、市民への不安が広がっていることから、現設計を選択する合理的根拠、判断根拠、妥当性や財政面の裏付けを市民に分かる形で丁寧に示すことを求める。「稼ぐ自治体」への変革についても、いつまでにどの程度の増収を見込むのかという具体的なロードマップが示されていない。物価高騰等で歳出が膨らむ中、言葉ばかりが先行することのないよう具体的なKPIや工程表を明示し、その進捗を検証可能な形で示すことが不可欠である。

日本共産党小金井市議団

物価高騰が長引き、市民生活が厳しい経済状況の中、今定例会には、国民健康保険税の一人平均1万円及び来年4月からの下水道料金の1.2倍の負担増、公民館の有料化、ことぶき理容の廃止、福祉タクシー、心身障害者ガソリン助成、バス、電車も含む交通費手当の変更と合わせ、金額も3,000円を1,100円に引き下げるなど値上げとサービス切り下げが提案された。一方、新庁舎等建設は現設計では131億円の建設工事費を174億円に引き上げ、総事業費は242億円で、3回目の入札を行うとしている。借金は164億円（利子を含む。）である。これ以外にも第一小学校的建て替え工事なども目白押しである。私たちは、市庁舎建設の現設計を抜本的に見直してコストダウンを行い、負担増とサービス切り下げをやめる修正案、予算の組み替え案を提案した。

小金井市議会公明党

庁舎建設について「3回目の入札に向けて調整を進め早期建設を目指す」という姿勢が示されたことを評価する。早急に財政見直しを示し、ワンチームで臨んでいただきたい。「安全安心なまちを目指し、事故防止、防災、減災施策を強化」とし、自主防災組織強化や防災フェスタの向上を掲げた。防災減災や人のつながりや市民力を引き出すことを中心に据えられているのは、大変に重要な観点だ。確実に推進するため、担当部署の体制強化を要望する。「稼ぐ自治体への変革を目指す」と示された。クラウドファンディング(GCF)で「トイレカーの導入」の検討を挙げられたことは評価するが、GCFは自治体が抱える問題解決のため、寄附金の使い道をより具体的に示し共感した人たちから寄附を募る仕組みであるため、稼ぐ自治体に向け更なる具体策を示すべきだ。

子どもの権利／情報公開

①庁舎等建設について。現設計は、入札が2回連続不調、総事業費が242億円に高騰し、実質的に破綻しているが、「早期建設」などと書いて、市民に幻想を与えている。②都市計画道路について。公約に違反して事業に賛成すると東京都に伝えているが、それには触れず、「はけと野川を守る」などと書いており、無責任である。③「子どもの権利の日を制定」と書いているが、公約に違反して市立保育園2園の廃園、3園の定員大幅減を強行しており、子どもの権利をどこまで理解しているのか甚だ疑問である。

小金井をおもしろくする会

市長就任以降、こがおもが重視する政策が前進しており、施政方針に掲げる4つの重要な視点はその具現化である。インクルーシブに配慮した公園とまちづくり、多様な学びを支援するチャレンジクラス、自治体DX・AIの活用、武蔵小金井駅周辺や東小金井駅北口の整備等、市民生活の向上をめざす具体的施策が盛り込まれている。行財政改革や持続可能な自治体経営についても評価する。多様な意見を尊重し合い、ちがいを力に換えるまちの実現に向け、市政を前に進める市長の取組を支持する。



参政党小金井

施政方針では自主財源確保があまりにも軽視されている。「稼ぐ自治体」の具体的政策として、重点地域の都市計画の見直しを取り入れ、市民の資産価値向上による固定資産税の増収と地域の発展、利便性、賑わいのある小金井市を目指すべきである。

生活者ネットワーク

重要課題「都市計画道路の中止を求めること」に関し、公約に反し整備推進の立場に変わったことが読み取れず、市民を欺く表現であり容認できない。インクルーシブな共生社会実現のため「多様性を包摂し、ちがいを力に換えるまち」の具現化を求める。

自民党・街の仲間たち

職員の人材育成に力を入れることが盛り込まれている。職員の皆さんが庁舎から飛び出し、地域と関わり、職員自らのスキルが身につく、その熱量を職場に持ち帰り、職務に役立て、結果として市民サービスに寄与するので、極めて重要な取組である。

れいわ新選組小金井

校内教育支援センターの全校配置と、新たな東中学校でのチャレンジクラス設置は評価するが、更なる多様な学び拡大支援として、当事者から要請の多いフリースクール等、学校以外の学びの場拡充のための市独自の追加学費・運営費助成施策を要望する。

小金井市政を見える化する会

DX/ICTにより市民の健康を守る施策の一つとして「母子保健DX」が提案された。ワクチンを打たすだけにならないよう、またワクチンによる健康被害の実態を周知すること、さらに効果検証のための匿名化健康情報のオープンデータ化を要望する。

緑・つながる小金井

「東京都に対し、2本の都市計画道路整備の中止を求めること」について、「市長報告を踏まえ」との表記に留まっているため、中止を求めるために尽力している市長に読み取れる。3・4・11号線の整備を「容認」したことについて明記しないのは不誠実だ。



小金井市議会BCP(業務継続計画)に基づく、市議会避難訓練を実施しました

訓練の目的

小金井市議会BCP(業務継続計画)には、毎年度1回は議会の防災訓練を行うことと定められています。
災害発生時における議会と議会事務局の体制や行動基準、災害応急対策の内容などを検証・点検し、実効性のある訓練を行うことを目的とします。

訓練内容

第1部：屋内消火栓・担架搬送講習
第2部：シェイクアウト訓練
第3部：訓練用消火器の使用訓練
協力：小金井消防署



布担架を使用した避難訓練



訓練用消火器の使用訓練



姿勢を低くし、頭を守り、第一会議室の机下に隠れて地震が収まるのを待つ



小金井消防署からの屋内消火栓講習

実施日：令和8年2月19日(木)



屋内消火栓の使用訓練



小金井市議会BCP、
訓練の詳細は
こちらを参照ください

小金井
市議会
BCP

次の定例会は令和8年6月2日(火)開催予定です。

原稿は議員が作成しています